

2021年6月7日

新しい働き方 「ハイブリッドワーク」

ハイブリッドワークを組織で実現する方法

© 2021 Cisco and/or its affiliates. All rights reserved.



新型コロナウイルス感染症は世界的にも収束の方向に向かっていきます。しかし、以前の働き方に戻るわけではありません。新しい働き方へと変わっていくことは確実です。

2020 年は、テレワークにうまく対応できた企業とそうでない企業がはっきりと分かれた年となりました。クラウドテクノロジーやコラボレーションツールにすでに投資していた企業は、冷静に対処することができました。そうでない企業は必要なものが何かを理解し、これらのツールをリアルタイムで導入しなければならなかったため、業務の一部が停滞するケースもありました。パンデミックの結果、すべての業種のあらゆる企業が途方もない課題と絶好の機会の両方に直面することとなったのです。

この1年、多くを学びました。

1.

テレワークは、持つ者と持たざる者を生み出しました。社会が変化し、新たな情報格差が浮き彫りになりました。しっかりとリモートオフィスを構えた人もいれば、子供部屋や騒がしいキッチンで仕事をこなした人もいました。

2.

そのために燃え尽き症候群に陥ったり、リモート疲れに苦しむ人も出てきました。ノートパソコンを使ったオンライン会議の連続が、当たり前のことになり過ぎています。しかも会議中であっても、同時に複数のことをこなさなければならないプレッシャーが常にあり、刺激の少ない状況でほとんど休憩も取れません。気分の切り替えも、今までになく難しくなっています。チームリーダーとしての仕事をした直後に、子供たちを習い事に送っていくこともあるでしょう。

3.

仕事をする場所を分散化することには大きな課題もあります。脆弱性やセキュリティ態勢評価のすきを狙った侵入経路は、かつてない程に拡大しています。

4.

IT 管理者の役割はさらに困難になっています。ユーザの要望に沿ったサービスを提供し、管理するためのコストは、これまで以上に高額になっています。

様々な変革を求められた 1 年を経て、組織は必要に迫られた結果のテレワークではなく、きちんと定義されたハイブリッドワークへと歩み出そうとしています。

第 1 波：パンデミック前

職場とは、物理的な移動先を指す言葉でした。コラボレーションツールはすべての勤務環境に必要というものではありませんでした。リモート参加者がいた会議は全体の 8% に過ぎず (2020 年 Dimensional [Research](#))、タウンホールミーティングや研修、イベントもすべて対面で行われていました。ビデオ会議やテレワークを受け入れるユーザが増加はしても、まだ主流ではありませんでした。そのためオフィスも技術も、リモートワークスタイルに対応した本当の意味でのインクルーシブなエクスペリエンスを提供できるようにはなっていませんでした。

第 2 波：パンデミックの渦中

新型コロナウイルス感染症の打撃を受けたとき、シスコは事業継続を重視し、ほぼ一夜のうちに全社員をテレワークへと移行しました。タウンホールミーティングや研修、イベント、チームミーティングもすべてリモートになりました。テレワークによる従業員の生産性は、オフィス勤務時と同程度か、むしろ向上することが明らかになりました。ただしその一方で、リモート疲れや燃え尽き症候群といったマイナス面も出てきました。優れたツールを使うことで新しい勤務環境でも苦境を乗り越えることはできましたが、すべてがうまくいったわけではありませんでした。

第 3 波：パンデミック後

現在、全体の 98% の会議に少なくとも 1 人のリモート参加者がいるという調査結果があります (2020 年 Dimensional [Research](#))。つまり企業としては、従業員が疎外感を覚えたり、平等な発言の機会が与えられていないことがあっては困るということです。オフィスのスペースやツールにも、これまでとはまったく異なる方法のアプローチが必要になるでしょう。企業は、自宅、オフィス、その間のあらゆる場所で仕事ができる柔軟性を提供するとともに、オフィスの安全性や、どこのオフィスでも使えるコラボレーション技術が当たり前にならなければなりません。従業員のほかにも、お客様や見込み客との対話にハイブリッドなイベントを活用することが今後の重要事項となります。この新しい波では、何においてもウェルビーイングと安全性に焦点を当てる必要があります。

第三社機関の調査結果から、 新たな重要傾向が見えてきました。

81%



オフィス勤務にまったく戻りたくないか、ハイブリッドな働き方をしたいと回答した人の割合 (2021 年 The Harvard Gazette、[調査](#))

58%



最近テレワークをしている人のうち、1 年前よりも職場のコラボレーションツールをよく使うようになったと回答した人の割合 ([Forbes](#)、2021 年)

25%



パンデミック前は全体の 60% であった対面式の会議が、2024 年までに 25% に減少 ([Gartner](#)、2020 年)

87%



今後 12 ヶ月以内に不動産戦略の変更を予定している企業経営者の割合 ([PWC](#)、2021 年)

97%



勤務環境をより安全にするための変化を望んでいる従業員の割合 (2020 年 Dimensional [Research](#))



新しい働き方「ハイブリッドワーク」を見据えた戦略的投資が必要です。

具体的にはどうすればいいのでしょうか。ハイブリッドワークとは、働く場所だけを意味しているではありません。人、企業文化、安全、セキュリティ、新しい機会の創出のすべてを含みます。

それぞれが様々な様式で働いていても生産性を下げないためには、作業内容、ワークスタイル、デバイス、場所のすべてに適応できる柔軟なテクノロジーが必要になります。またテレワークと対面式の働き方の利点を取り入れ、誰もが平等に発言できるソリューションが必要です。

私たちは今、働き方の次の段階への転換期におり、ここで重要な決断をしなければなりません。2021年までは「それなり」のコラボレーションシステムでもテレワークに対応できたかもしれませんが、ハイブリッドワークに移行する際には低品質で途切れ途切れの、安全性に問題のあるコラボレーション エクスペリエンスを採用するわけにはいきません。今こそ行動すべき時です。

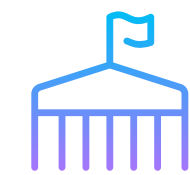
「それなり」 のレベルで 妥協しないで ください

従業員が離れた場所で働くようになることで、この新しい働き方を
実現する方法についての疑問がさま
ざまなチームから投げかけられます。



企業やチームリーダーは「安心してハイブリッドワークを実践してもらうため、テレワークをしても自分は同等に扱われていると感じてもらうためには、どうすればいいのか」と疑問を持っています。

従業員が利用するツールは、企業文化の維持と醸成、チームエンゲージメントの創出、人材獲得の拡大、従業員のウェルビーイングに役立つものでなければなりません。



企業の不動産や施設を担当するチームは「安全して
出社できるように、全従業員のためのオフィスを用意する」という要望に迅速に対応しようとしています。

この問題を解決するには、オフィスを安全で清潔に保ちながら、フリーアドレス、ハドルルーム、ミーティンググループが混在する状態をサポートする必要があります。また、現在そして将来、効果的な決定を下すために、スペースの利用状況も把握しておかなければなりません。



人材育成や人事の担当者にとって疑問は「共感や配慮をしながら、どのように従業員をリードするか」ということです。

従業員が最高のパフォーマンスを発揮できるように、柔軟性を提供し、誰もが疎外感を抱かないようにし、そして簡単に連絡できるようにする必要があります。また、リモート疲れや仕事疲れも解消できるようにしなければなりません。



IT 部門は「セキュリティとプライバシーを確保しながらハイブリッドワークのための職場環境を管理し、問題を解決していくためにはどうすればいいか」と疑問を感じています。

導入するツールは、簡単に拡張でき、コラボレーションのニーズに対応するだけでなく、問題を迅速に解決するためのリアルタイムの知見を提供する必要があります。

「オフィスに出社しなければうまく機能しないようなプロセスやシステムであれば、テレワークで参加しているチームメンバーは疎外感を覚え、常にコミュニケーションの壁に直面してしまうでしょう。それではオフィスにいる同僚と同レベルのパフォーマンスを発揮することが難しくなってしまう」。

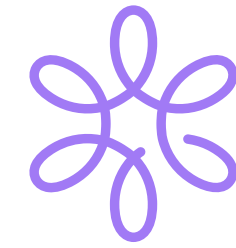
Wired

「物理的な場所に関係なく、すべてのチームメンバーに公平な活躍の場を確保しなければなりません。オフィスにいるメンバーが最上級で、リモート参加者は一級下といった二階層のシステムであってはならないのです」。

Forbes

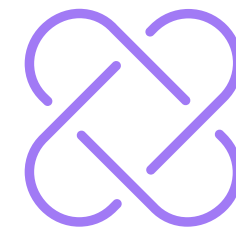
パンデミックによって、従業員が求めるエクスペリエンスとウェルビーイングが明確になりました。では、その教訓をどのように活かせば、ハイブリッドワークを浸透させることができるでしょうか。

これを本当の意味で実現するには、次の点を満たすコラボレーション ソリューションが必要です。



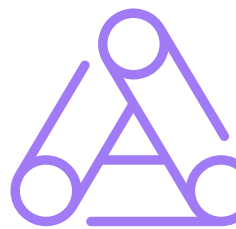
柔軟

ハイブリッドワークを実現するには、すべてのコラボレーションの活用事例と通信手段に対応できるソリューションが必要です。そこには、従業員だけでなく、お客様や顧客といった社外からの参加者も含まれます。また、どんなアプリケーションとも連携できる必要があります。



インクルーシブ

求められているのは、誰にも平等なエクスペリエンスを提供するソリューションです。つまり、参加者の言語や場所にかかわらず意思疎通ができ、非言語的コミュニケーションも簡単にできなければなりません。さらに、ハイブリッドなミーティングの参加者全員が平等だと感じられる必要があります。もし遠隔地にいても、その場にいらないことを理由に、議論から除外されたと感じることがあってはなりません。



心身の健康を重視

リモート疲れを感じながらも、オフィスへの出勤には不安を感じている従業員の気持ちに理解を示す必要があります。個人もチームも、目的を持って会議に参加し、ワークライフ インテグレーションを理解し、最も貴重な資産である時間を無駄にしないようにする必要があります。



安全

ハイブリッドワークでは、仕事をする場所や接続、デバイス、通信、コンテンツが増加することでリスク領域が拡大します。シンプルさと従業員の効率性を損なうことなく、最高レベルのセキュリティとプライバシーを確保する必要があります。



管理が容易

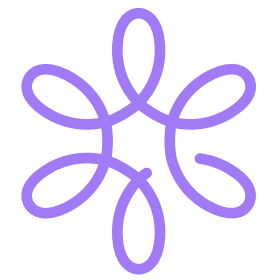
ユーザがどこで仕事をしていても、ユーザやデバイスのプロビジョニング、モニタリング、知見の取得が簡単にでき、最高のエクスペリエンスを提供できるようにする必要があります。

ハイブリッドワークの ための 5 つの基本要素 を確認する



Webex はハイブリッドワークを どのように実現するのでしょうか。

今のような前例のない働き方の変化には、ハイブリッドな働き方に対する新しいタイプのソリューションが必要です。組織がハイブリッドな働き方という未知の領域に足を踏み入れる際には、重要な 5 つの要素について確認する必要があります。



ハイブリッドワークは柔軟でなければならない

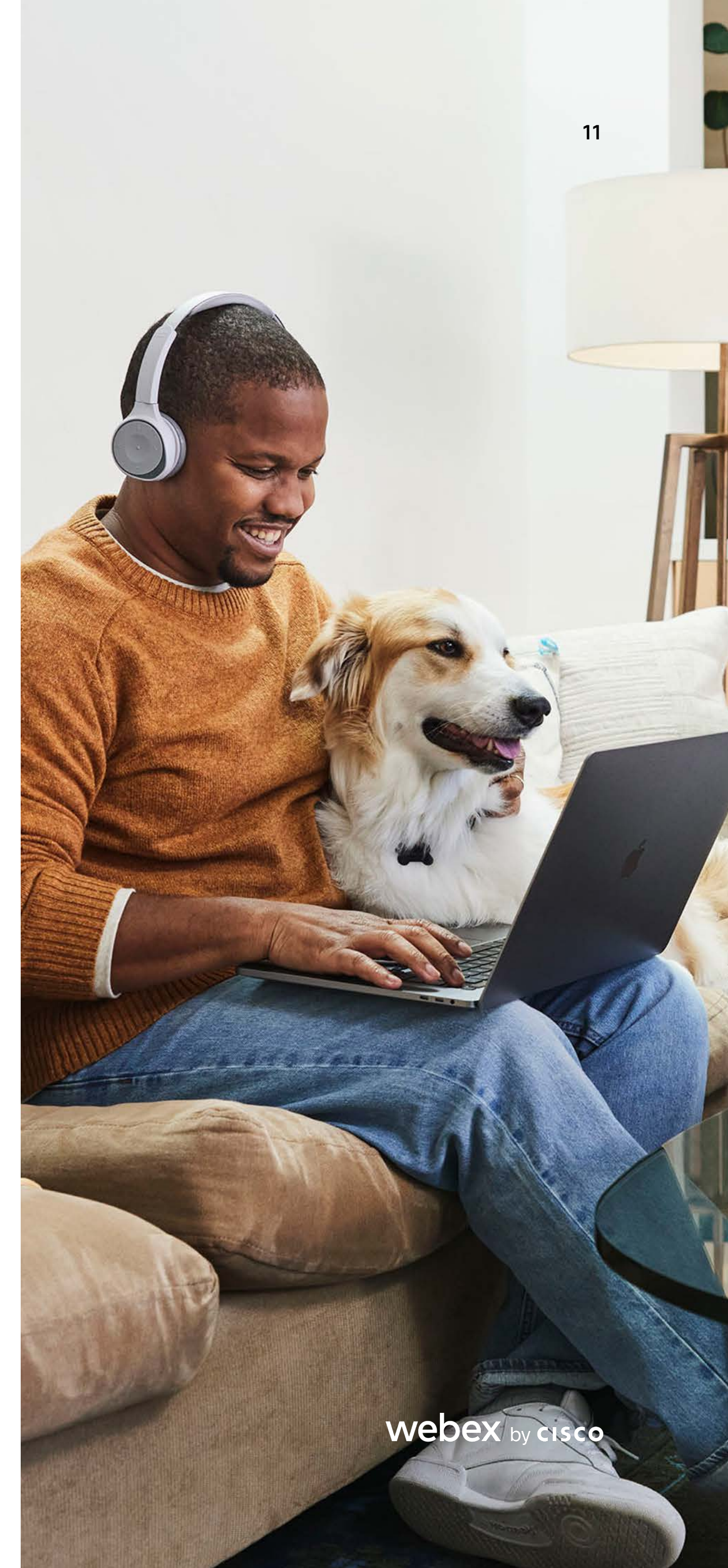
求められているのは、あらゆるワークスタイル、業務、環境に適応するソリューションです。

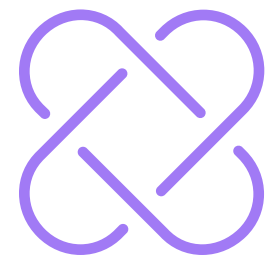
たとえば、電話から大規模なミーティングまで、あらゆるタイプのコミュニケーションをサポートするソリューションが必要です。また、企業内のあらゆる業務や部署に適応し、社内外の人とのシームレスな連携ができなければなりません。加えて、自分が使いたいツールで利用できることも必要です。

Webex の特長

- ・ 電話、会議、メッセージの機能が統合された単一のアプリ
- ・ 業界初の統合型エンドツーエンドのイベントエクスペリエンスで、最大 10 万人規模の対面式、バーチャル、そしてハイブリッドなイベントをサポート
- ・ オフィス勤務とテレワーク間のシームレスな移行
- ・ 通話から簡単に本格的な会議へエスカレーション可能
- ・ 内勤と外勤のどちらにも対応したソリューション

- ・ 計画的および自発的な同期および非同期通信
- ・ すべてのアプリとの連携が可能
- ・ 他のコラボレーションサービスとの相互運用を目的としたオープンエコシステムにより、これまでと同じツールを継続的に利用可能





ハイブリッドワークは インクルーシブで なければならない

インクルーシブはシスコの
中核となる価値観であり、
シスコのミッションは「すべての
人のためにインクルーシブな
未来を推進する」ことです。

シスコは、すべての人が積極的に参加して、疎外感を感じることがないようにしたいと考えています。求められているのは、誰にも平等なエクスペリエンスを提供するソリューションです。つまり、参加者の言語や場所にかかわらず意思疎通ができ、非言語コミュニケーションも簡単にできなければなりません。さらに、ハイブリッドなミーティングの参加者全員が平等

だと感じられる必要があります。もし遠隔地にいても、その場にいないことを理由に、議論から除外されたと感じるようなことがないようにしなければなりません。

Webex の特長

誰でも発言でき、言語が障壁にならないようにします

- ・ **Webex** は、英語のほか 11 の言語を 100 以上の言語にリアルタイムで翻訳できます（追加費用が必要）
- ・ **ジェスチャ認識機能** によって、言葉を話さなくても会議に積極的に参加できます。Webex がジェス



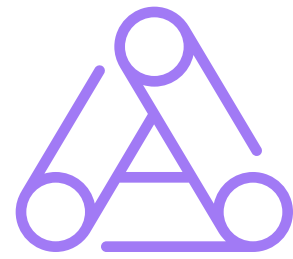
チャを認識して、スピーカーの邪魔をすることなく
ライブ会議中にすばやくフィードバックします

高い品質で、誰にでも優れたエクスペリエンスを提供します

- ・ Webex の背景ノイズの除去機能と音声の明瞭化機能により、参加者は**会議に集中**できます。My Voice Only は、さまざまな背景ノイズ（芝刈り機からミキサー、掃除機の音まで）だけでなく無関係な話し声も除去し、スピーカーの音声を明瞭にする Webex の機能です。この機能により、広い場所や騒がしい場所においても、自分の声が確実にはっきりと相手に届きます
- ・ ネットワーク環境が良くない場所から参加しても、（アバターだけでなく）**自分の姿と声を届ける**ことができます。Webex AV1 インテリジェント フレーム レート適応機能を使えば、ネットワーク環境が悪いリモート参加者も、最高品質のエクスペリエンスによって自分の姿と声を届けることができます

自宅でもオフィスでも、魅力的で臨場感あふれるエクスペリエンスを提供します

- ・ **統合型のオーディエンス エンゲージメント プラットフォーム**は、Slido のコラボレーション エクスペリエンスが利用できます。一方的に話すだけでなく、相互の会話が可能になります。投票機能や Q&A、クイズ、ワードクラウドなどが統合されており、視聴者との精力的な交流が可能になります。
- ・ 画面に表示されるものを**カスタムレイアウト**で選択できるほか、最も重要な人やコンテンツに焦点を当てるオプションもあります。
- ・ **背景ぼかし機能**またはバーチャル背景機能は、すべてのデバイスやオペレーティングシステムで使うことができ、プライバシーが守られます
- ・ 対面式のプレゼンテーションと同じような**魅力的なプレゼンテーション**ができます。Webex のイマーシブシェア機能を使えば、共有するどんなコンテンツの前にも自分を配置できるため、参加者との距離を縮められます
- ・ Webex がどのようにインクルーシブなエクスペリエンスを提供し、誰もが音声通話や **ビデオ通話**を利用できるのか、ご覧ください



ハイブリッドワークは 心身の健康を重視し なければならない

求められているのは、従業員の健康とウェルビーイングをサポートするソリューションです。

この1年間に学んだことがあるとすれば、それは従業員には共感が必要だということです。つまり、従業員の疲れを軽減し、集中力を高めるのに役立つ機能や知見を提供すると同時に、清潔で健康的な職場を実現するソリューションが求められているのです。

Webex の特長

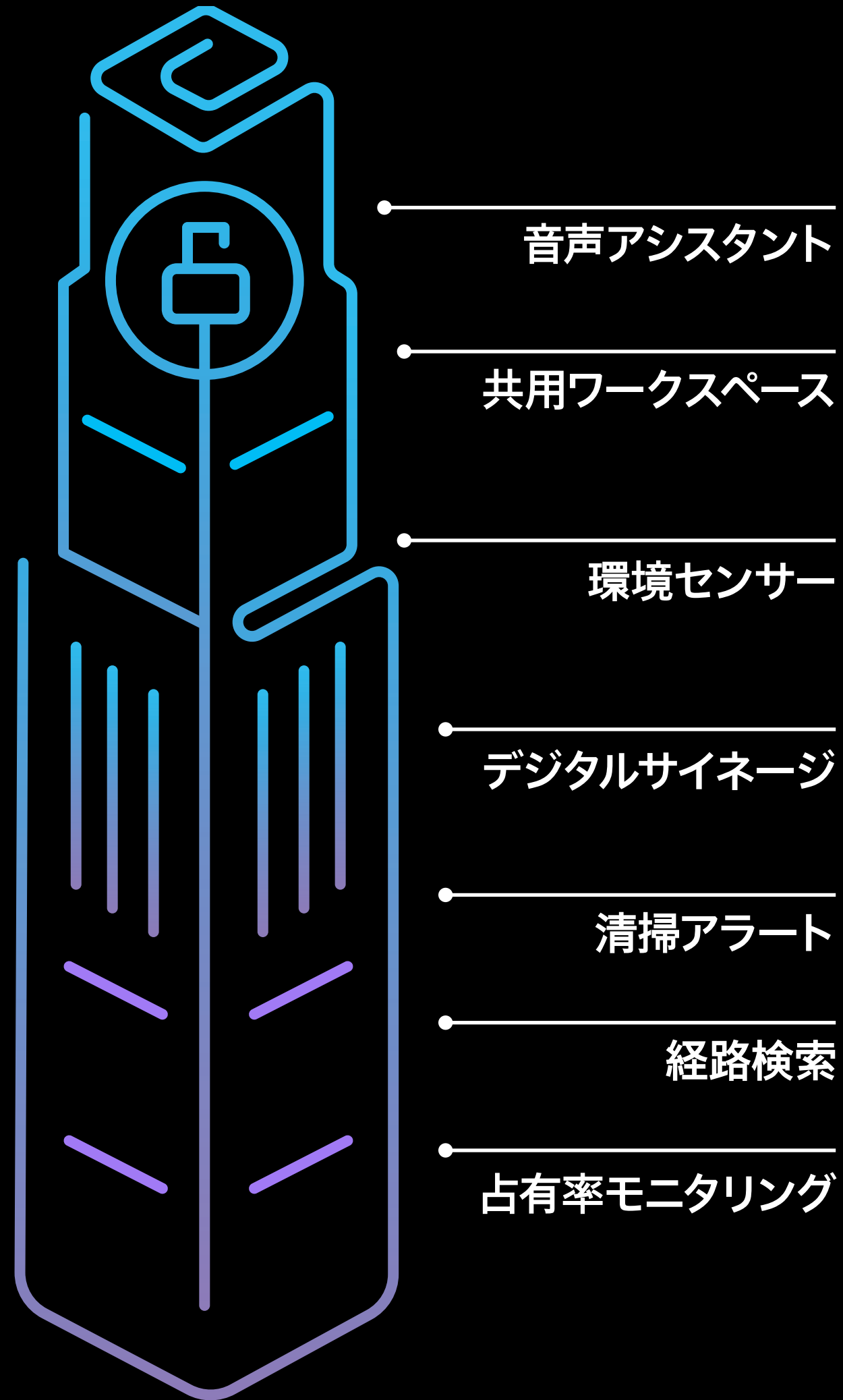
共感的なエクスペリエンスを促し、従業員を成功に導きます。

- Webex の People Insights は、個人、チーム、組織に関する詳細で個人的な情報を提供することで、従業員が感じやすい疲れに対抗します。また、個人のウェルビーイング、チームの影響力、インクルーシブなコラボレーションを強化します
- Webex と Thrive Global 社は研究に裏付けされた科学を実用化するために、新たなパートナーシップを発表しました。これは、ウェルビーイングを

システムやツールに組み込むことで、組織がハイブリッドワークへの移行を開始する際、より効果的に実践できるようにするものです。Thrive Reset を Webex に導入することで、会議前後または会議中のわずか 60 秒で頭をリセットし、ストレスを軽減できるので、ストレスの蓄積から燃え尽き症候群になるのを防げます。また Webex への統合により、ボットが従業員にダイレクトメッセージを送信して、短時間の休憩を取りたいか聞くこともできるようになりました。シスコは Thrive Calls の共同設立パートナーでもあります。Webex 会議やメッセージングにおける Thrive Reset と同様、Thrive Calls はコンタクトセンターのエージェントにも同じコンセプトを適用します。ただし、音声を通じて行います。



安心して出社 できるオフィス



オフィスの安全性の強化

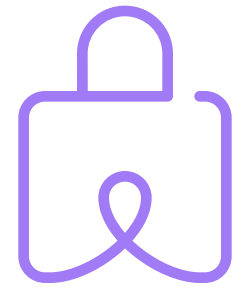
- ・ タッチレスな会議エクスペリエンス (参加、共有、電話、インテリジェントな部屋予約)
- ・ 仮想受付チェックイン
- ・ 清掃通知
- ・ 人数カウントのアラート
- ・ 経路検索
- ・ フリーアドレス
- ・ デジタルサイネージ
- ・ 占有率
- ・ リモートからの参加者も含め、あらゆるワークスペースやワークスタイルにも対応できるように設計されたスマートなコラボレーションデバイス
 - a. Desk シリーズ
 - b. Room シリーズ
 - c. Board シリーズ

単なる生産性の促進の話ではありません。基本となる健康とウェルビーイングがなければ生産性向上は不可能で、これらは表裏一体の関係にあるのです。

- ・ 専用のデバイスとカメラのインテリジェンスが会議疲れやリモート疲れを解消します。在宅勤務のエクスペリエンスのために設計された Webex デバイスをご覧ください ([ビデオへのリンク](#))
- ・ 安全性向上のための他のシスコ製品との連携
 - 建物全体の人口密度を監視します - Cisco DNA Spaces と Meraki を活用して、要求する人事アプローチと連携したロケーションベースのサービスを提供します

ハイブリッドな企業文化で共感的なエクスペリエンスを促進します

- ・ **People Insights**: 個人やチーム、組織に関する知見がウェルビーイングをサポートします



ハイブリッドワークは安全でなければならない

設計に組み込まれたセキュリティ対策。デフォルトでプライバシーを保護。

どこからでも働けるようになった今、リスク領域が拡大し、あらゆる場所で脅威が増加しています。つまり、セキュリティを後から追加するのではなく、組み込んでおくソリューションが必要です。セキュリティを後で付け足す訳にはいきません。シスコは、確かなセキュリティで知られており、求められているのは、個人のプライバシーをデフォルトで尊重しているソリューションです。

Webex の特長

シスコは、確かなセキュリティで有名です。求められているのは、デフォルトでプライベート保護が組み込まれたソリューションです。Webex では、プライバシーを基本的な人権だと考えています。個人のプライバシーを尊重するシステムこそが、システムに対する信頼を構築するのです。

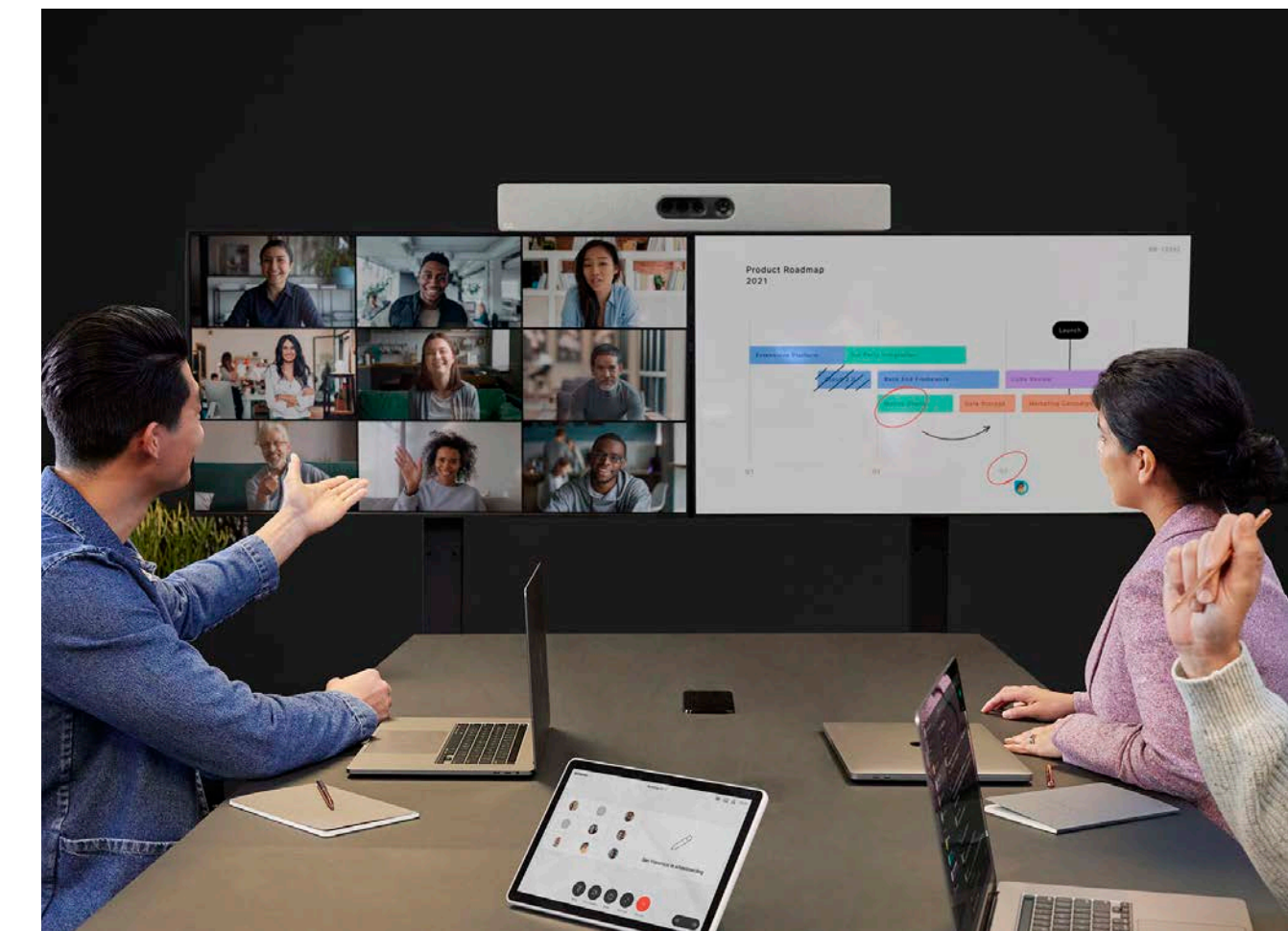
ゼロトラストセキュリティは、ユーザ、ルームデバイス、コンプライアンスを認証します。シスコのアプローチは、会議の内容をエンドツーエンドで暗号化するだけでなく、各参加者のアイデンティティを

検証する標準に基づいています。また、その対象をすべてのデバイス、会議室、モバイルデバイスやラップトップ上のアプリに拡大しています。

エンドツーエンド (E2E) アイデンティティは、会話の機密性を保ちます。これは、話している相手が、その人の申告どおり本人であり、誰もそのアイデンティティを改ざんしたり、なりすましていないという確信が必要なため、非常に重要なことです。これは、e- コマースや安全なコンテンツがブラウザで提供される場合と同様に、信頼できる認証機関を介して行われ、参加者は検証されます。さらに、セキュリティコードの検証は、アイデンティティに一致する鍵や証明書を用いた MLS の暗号状態に基づいているため、否認防止にもなります。

コラボレーション向けのリアルタイムデータ損失防止 (DLP) 機能を、業界で初めて取り入れました。リアルタイム DLP を使うと、機密コンテンツを投稿後に編集や削除することではなく、そのコンテンツがクラウドに保存されることを防ぐことができます。これはセキュリティ管理者のためだけに構築された機能ではなく、もしユーザのコンテンツが会社のポリシーに違反している場合、アプリ内でメッセージを表示することで、ユーザをベストプラクティスに誘導する目的もあります。

シスコのグローバルネットワークとデータセンターのデータ主権とコンプライアンスは、リアルタイムメディア用に設計されていて、規模の大小に関係なくあらゆる組織に必要なスケールとリーチを備えています。Webex は EU、インド、カナダの各地域のコンプライアンスの必要性に対応したローカライゼーションをサポートしています。さらに、フランクフルト、ムンバイ、モントリオールにデータセンターを新設し、拡大を続けています。





ハイブリッドワークは 管理が容易でなければ ならない

ハイブリッドワークを実現するためには、従業員がどこにいても仕事ができるように、IT部門がパフォーマンスと品質を管理する必要があります。

ビデオがすべての会議に欠かせないものとなった今、品質への期待度はかつてないほどに高くなっています。そのため、ソフトウェアからハードウェア、施設に至るまで、環境全体をスムーズに管理できるソリューションが必要です。ユーザがどこにいても、最高のユーザエクスペリエンスを確保できるように、リアルタイム

の知見を提供できなければいけません。求められているのは、ハイブリッドワークで必要とされるメディアや帯域に最適化された最新のクラウド インフラストラクチャ上に構築されているソリューションです。

Webex の特長

- ・ 単一画面での管理
 - Control Hub から、すべてのコラボレーションソフトウェアとデバイスを直接管理することができ、リアルタイムのエクスペリエンス管理ができ、施設およびエクスペリエンス管理のための履歴データが提供されます

- ・ 簡単なプロビジョニングと展開
- ・ どこからでもアクセスできる、マルチメディアに最適化されたクラウド
 - **Global Web Cloud** では、23 のデータセンターでリアルタイムのメディアアクセスを最適化しています。新たに設置されたムンバイ、フランクフルト、モントリオールを含む拠点で 100 を超えるピアリング接続を世界中に提供しています
- ・ リアルタイム分析とエンドツーエンドのトラブルシューティング機能は、電話、会議、デバイスのいずれにも対応しています
- ・ 電話、会議、メッセージ、デバイスを 1 つのコラボレーションツールで管理します
- ・ **webex.com** の統合通話プランサービスを使えば、PSTN のプロビジョニングと購入が簡単にできます
- ・ 従業員が働く場所やコラボレーションの方法に合わせて設計された Webex デバイスは、導入も大規模な管理も簡単にできます。[シスコの包括的かつ受賞歴のあるデバイスをぜひご覧になり](#)、組織にぴったりのデバイスをお選びください。



Cisco Webex : ハイブリッドワークの イノベーションをリードする

ハイブリッドワークを成功させるためには、リーダーシップ、企業文化、従業員第一のマインドセット、シームレスなエクスペリエンスを可能にする適切な技術が必要です。

これを実現できるのは、**シスコ**以外にありません。

Webex は、ハイブリッドワークに業界で最も完成したソリューションを提供します。シスコには、ハイブリッドワークに必要な重要要素である柔軟、インクルーシブ、心身の健康の重視、安全、容易な管理を含むビジョンと技術があります。

シスコはイノベーションの加速に注力しています。この9 ヶ月間、シスコはお客様のエクスペリエンスを向上させるために、800 を超える新しいイノベーションを市場に投入し、4 社の買収を行いました。直近では、今後はイベントもハイブリッドになるという展望のもと、イベントプラットフォーム Socio を買収する意向を発表しました。さらに過去数年間、人工知能技術の獲得と組織的なイノベーションに 10 億ドルを投資しました。

シスコのイノベーションと品質への取り組みは、お客様に評価されています。音声やビデオの品質重視はその一例です。背景ノイズの除去機能によって、300 億分を超える低品質な背景ノイズを会議から排除しました。シスコのネットプロモータースコア (NPS) は 14 ポイント上昇し、現在、過去最高になっています。

しかし、ここで終わりではありません。

800+

市場投入した新しいイノベーション数

新しい働き方「ハイブリッドワーク」

Webex Suite

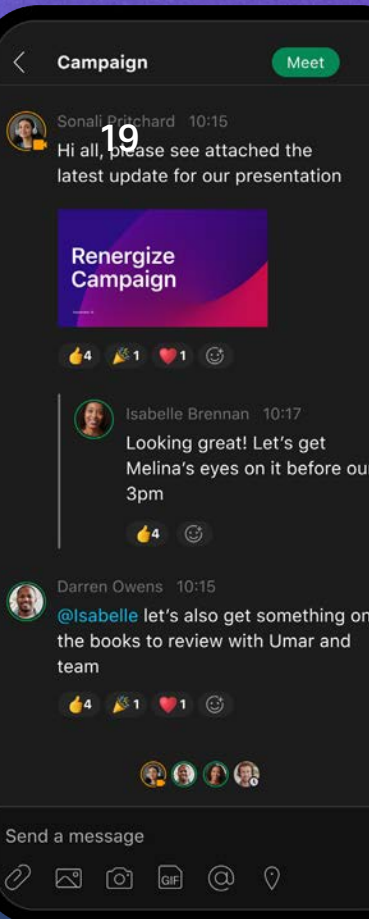
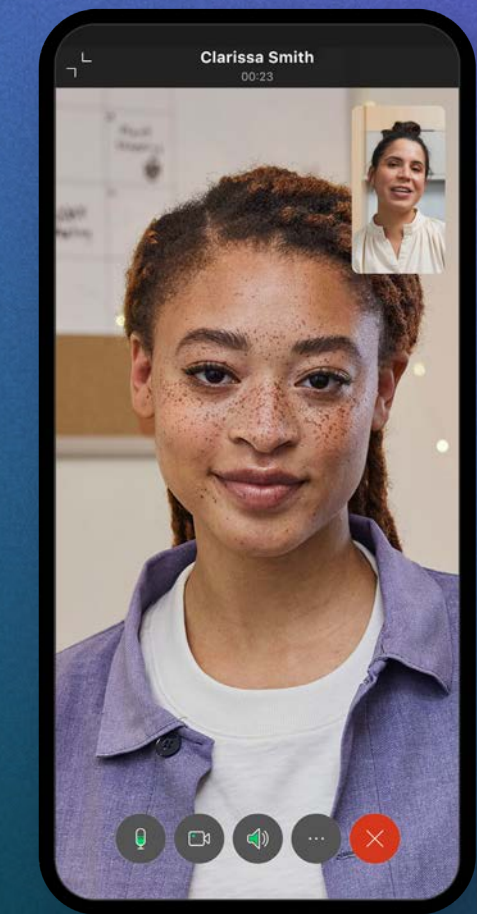
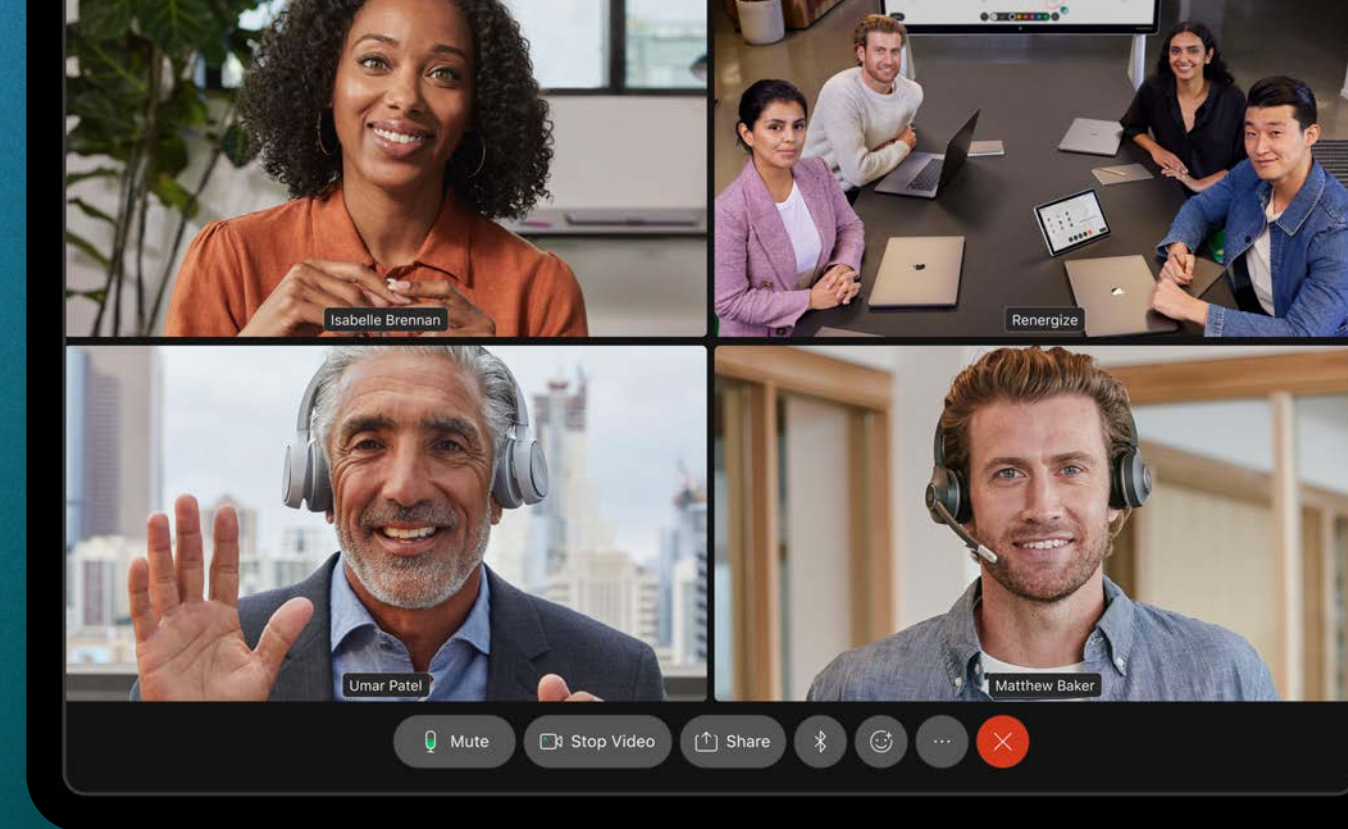
統合されたハイブリッドワークエクスペリエンスのための、最高水準の初めての製品シリーズ。

このハイブリッドな働き方のフレームワークを構築するために、**シスコは Webex Suite を市場に投入します。**この包括的な製品群によって、お客様のコミュニケーションおよびコラボレーションのニーズをすべて満たすことができます。

Webex は単なるオンライン会議ではありません。Webex Suite は、会議、電話、メッセージ、イベント、投票機能、Q&A を、市場をリードする AI ベースの Webex Assistant と統合し、ハイブリッドワーク向け

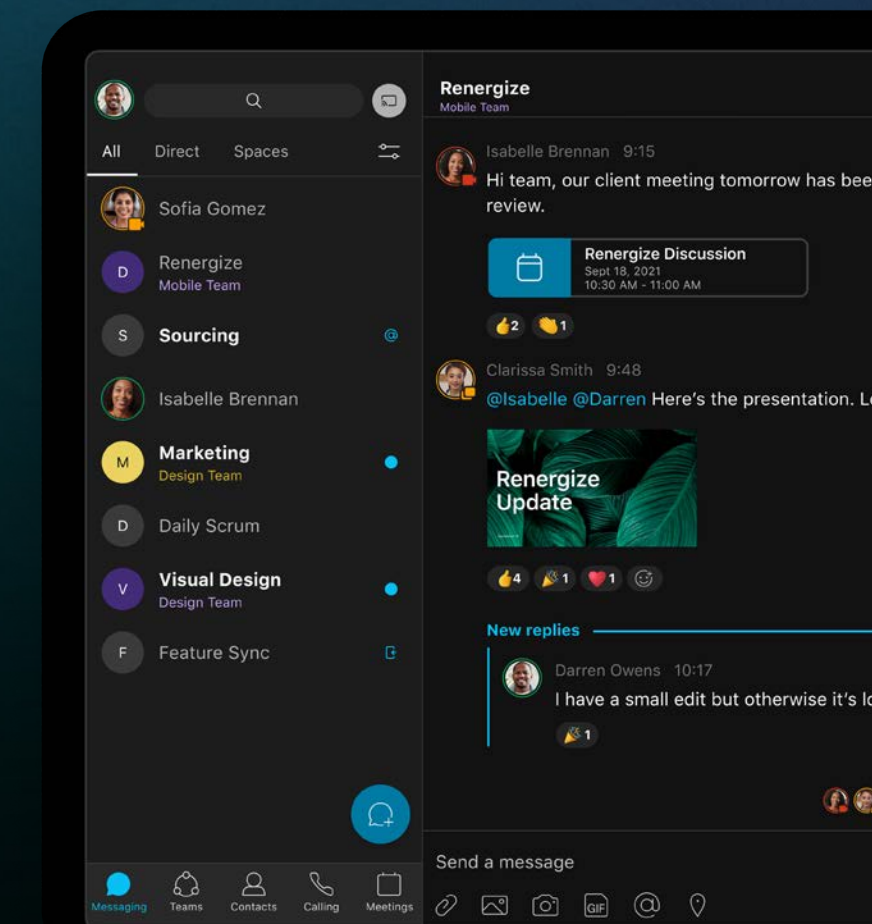
に設計された単一のクラウドベースのソリューションとして提供します。さらに、Webex 製品と組み合わせると多数の Webex Device が最大 50% 割引で購入（メーカー希望小売価格に基づき算出）できます。このプラットフォームでは、リアルタイムの分析と知見を用いて、ハイブリッドな職場の管理と確保を一元的に行うことができます。どのデバイスがお客様に最適か、[こちら](#)からお確かめください。

Webex 製品の完成度の高さと機能を活かせば、特定の機能にポイントソリューションを導入する必要性を削減できるので、コスト削減につながります。また、シスコはこれからもイノベーションを続けていきます。将来、そのような進歩が製品群に追加される可能性もあります。



Webex を選ぶ理由

1. ハイブリッドワークのための最高水準の初めての製品シリーズです。
2. 既存の IT 投資のコストを削減できます。あるベンダーから購入した会議機能、別のベンダー製のイベント機能、また別のベンダーのメッセージ機能、電話、投票機能など、各機能のポイントソリューションはもう必要ありません。すべてのコラボレーションニーズを満たす製品群を低価格で手に入れることができ、コスト以上の価値を得られます。
3. シスコが絶え間ないイノベーションを続ける中で、将来のコラボレーションアプリとともに、新機能や特徴も追加される予定です。



Webex の リーダーシップ

Fortune 500 社の 85%
から信頼を獲得

会議

13

Gartner Magic Quadrant (会議ソリューション分野) で連続して「リーダー」に選出された回数¹

6 億
5,000 万

毎月の会議参加者数

電話

3,900 万 60 億

クラウド通話のユーザ数

月間通話数

コンタクトセンター

320 万

エージェント数

3 万 6,000

お客様企業数

デバイス

29

レッドドットデザイン賞
ビデオデバイス部門²

1 億

通話デバイスの出荷台数

プラットフォーム

15 億

AI への投資額

41

グローバルデータセンター
の数

¹ シスコは、Gartner Magic Quadrant 2020 (会議ソリューション分野) で 13 回連続リーダーに選出されました。Abhay Kulkarni, 2020 年 10 月 15 日

² 2021 年レッドドットデザイン賞



NSA が Webex の セキュリティを高く評価

Webex は NSA のコラボレーション サービス
ガイドラインで高評価を取得しました¹

サービス	1 - エンドツーエンドの暗号化					2 - テスト可能な 暗号化	3 - MFA	4 - 招待の管理	5 - 最低限の サードパーティ共有	6 - セキュアな削除	7 - ソースコードの 公開	8 - 認定サービス (FedRAMP/NIAP)
	テキスト チャット	音声 通話	ビデオ 通話	ファイル 共有	画面 共有							
Cisco Webex ⁱⁱⁱ	Y ¹	Y ¹	Y ¹	Y ¹	Y ¹	Y ¹	Y ^{1,2}	Y ¹	Y	クライアント - Y サーバ - N ³	N	FedRAMP
Microsoft Teams ^{viii}	N	N	N	N	N	Y	Y	Y	Y	クライアント - Y ¹ サーバ - Y ¹	N	FedRAMP
Slack ^{xi}	N	N	N	N	N	Y	Y	Y	Y ¹	クライアント - Y ¹ サーバ - Y ¹	N	FedRAMP
Zoom ^{xiv}	Y ¹	N	N	Y ¹	N	Y	Y ¹	Y	Y	クライアント - Y サーバ - N ³	N	FedRAMP

¹ 出典：The National Security Agency (NSA)、U/OO/134598-20 | PP 20-0713 | 2020 年 11 月 バージョン 1.7

² 出典：リンク。Zeus Kerravala。Twitter、2020 年 12 月 8 日。

業界の賞および 評価



Trustradius 2021 コラボレーション
賞最高評価



Trustradius ベストカスタマー
サポート 2021



「ベスト コラボレーション プラット
フォーム 2020」受賞



Trustradius ベスト
ユーザビリティ 2021



「最も革新的な製品 2020」受賞：
Webex Assistant



テレワーク向け製品
上位 50



編集者選考賞 (2021 年)



エンタープライズ製品
上位 50

¹ 出典 : Trustradius Announcing TRUE 2021: Recognizing Brands Who Bring Trust to B2B Reviews. 2021 年 1 月 13 日

² 出典 : UC Today. The Winners Are In: UC Awards 2020 [英語]. Rebekah Carter. 2020 年 8 月 7 日

³ 出典 : UC Today. The Winners Are In: UC Awards 2020 [英語]. Rebekah Carter. 2020 年 8 月 7 日

⁴ 出典 : PCMAG.com. Cisco Webex Business Review [英語]. Daniel Brame. 2021 年 2 月 12 日

^{5&6} 出典 : Trustradius. Best of Collaboration Software 2021. 2021 年 1 月 6 日

⁷ 出典 : G2 Best Remote Work Products for 2021

⁸ 出典 : G2 Best Enterprise Products for 2021

お客様の声

インクルーシブなハイブリッドワークを成功させるためのフレームワークをお探しなら、ぜひシスコの営業担当にお問い合わせください。

ハイブリッドワークに特化したソリューションを構築するための 5 つの重要要素を網羅するソリューションを持つのは Webex だけです。ソフトウェア、デバイス、管理機能を統合し、ハイブリッドワークのためのこれほど包括的なソリューションを提供するベンダーは他にありません。

Cisco Webex がハイブリッドワークをどのように実現するか、[こちらからご覧ください](#)。

お客様のハイブリッドワーク戦略の設計と実施を Cisco Webex がどのようにサポートできるかについて詳しくは、[こちらからシスコにお問い合わせください](#)。

実際のお客様の事例



[EllisDon 社](#)



[ASHRAE](#)



[Rent-A-Center 社](#)

